



平成 27 年 4 月 24 日

各 位

会 社 名 株式会社 ビジネス・ブレイクスルー
代表者名 代表取締役社長 大前 研一
(コード番号 2464 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 伊藤 泰史
(TEL. 03-5860-5530)

業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 6 日に公表した平成 27 年 3 月期の連結業績予想及び配当予想について下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 3,725 | 254 | 248 | 119 | 10.46 |
| 今回修正予想 (B) | 3,763 | 272 | 282 | 216 | 19.04 |
| 増減額 (B-A) | 37 | 18 | 34 | 97 | — |
| 増減率 (%) | 1.0 | 7.3 | 13.9 | 82.1 | — |
| [ご参考]前期実績(連結) | 3,065 | 254 | 248 | 136 | 11.90 |
| 前期比増減率 (%) | 22.8 | 7.1 | 13.9 | 59.1 | — |

2. 修正の理由

平成 27 年 3 月期の売上高につきましては、平成 26 年 11 月に「アオバジャパン・インターナショナルスクール」を運営する当社の連結子会社である株式会社アオバインターナショナルエデュケイショナルシステムズ（以下、「アオバ社」という。）が、「JCQ バイリンガル幼稚園」を運営する現代幼児基礎教育開発株式会社を子会社化したことにより、前回予想を上回り過去最高の売上高となる見込みであります。

一方、利益面につきましては、上記の売上高の増加に加え、前期より連結子会社となったアオバ社において、国際バカロレア（IB）の取得に向けた施設の改修、充実及び教職員教育等の先行投資を実施したものの、当初の計画から早期経営改善が図れたことで、募集活動の強化による生徒数の増加に伴い、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前回予想を上回る見込みであります。

前述の理由により、アオバ社において繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、今後の安定的な収益が見込まれることから繰延税金資産を計上し、これに伴う法人税等調整額 49 百万円（益）を計上するため、当期純利益につきましては、前回予想を大幅に上回り過去最高益を更新する見込みであります。

3. 配当予想の修正

| | 1株当たり配当金 | | |
|-----------|----------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
| 前回予想 | — | 3円20銭 | 3円20銭 |
| 今回修正予想 | — | 5円50銭 | 5円50銭 |
| 当期実績 | — | — | — |
| (ご参考)前期実績 | — | 5円50銭 | 5円50銭 |

4. 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけており、各期の経営成績、企業体質の強化と今後の事業展開に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案しつつ、年間30%程度の配当性向を目標として、継続的な配当の実施に努めることを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、上記基本方針並びに当期の業績等を勘案いたしまして、1株当たり5円50銭の普通配当を実施する予定であります。

以上

(注) 上記の予想は現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。